

年 組 名前：

問1

たばやまむら かんせい
丹波山村に完成した

けんちく
「モバイル建築」とは、

じゅうたく
どのような住宅ですか。

.....

.....

.....

.....

問2

じゅうたく こうねつひ
この住宅は、光熱費を

おさ
ほぼゼロに抑えることが

りゆう
できます。その理由を

こた
教えてください。

.....

.....

.....

.....

移動可能住宅が完成

丹波山村、移住者利用へ

丹波山村が村内に整備を進めていた、パーツごとに切り離して移動が可能な住宅「モバイル建築」が完成した。今後、村営住宅として運用していく。

村は2023年12月に、モバイル建築の普及を目指す一般社団法人「日本モバイル建築協会」（東京都千代田区、長坂俊成代表理事）と協定を締結。昨年7月から整備を進めてきた。

整備した住宅は木造2階建てが3棟で、いずれも延べ床面積約66平方メートル。外壁には県産材を使用している。屋根に設

置した太陽光発電パネルから得た電気を売ることによって、光熱費をほぼゼロに抑えることができるという。

入居状況などによるが、災害発生時に被災地に運んで活用することも検討する。

整備費用は約9900万円で、半分は国からの交付金を活用した。今後、村への移住者が利用していく予定。村担当者は「快適な居住空間を提供することで、村への移住を推進したい」と話している。

（飯野終平）



完成した「モバイル建築」住宅 丹波山村

問3

（2025年1月21日付 山梨日日新聞 15面）

たばやまむら じゅうたく とき かつよう けんとう
丹波山村は、この住宅をどのような時に活用することを検討していますか。

.....